

平成22年度 決算報告

平成22年度決算が、去る7月14日の平成23年度第1回組合会において可決承認され、監督官庁への届出が済みましたので、その概要をお知らせします。

平成22年度は、長引く経済環境の低迷による大幅な保険料収入の減少に加え、納付金の大幅な負担増が健保財政を圧迫するなか、3月に発生した未曾有の大震災の影響により景気の低迷が続くことが懸念されます。当健康保険組合も例外ではなく、22年度は3年間で段階的に保険料を引き上げる初年度でありましたが、引き続き厳しい事業運営を余儀なくされました。

保健事業では、薬剤費の削減を目的としたジェネリック医薬品利用促進の個人通知や前期高齢者の医療費や納付金の削減を目的とした前期高齢者訪問健康相談をさらに強化していくとともに、疾病予防事業や健康増進対策も重点的に進めるなか、事業全般についても諸経

費の削減やメリハリのある見直しを継続的に行うことにより、健全な事業運営を図ることに留意してきました。

平成23年度も経済環境の悪化が予想されるなか、保険料率見直しによる収入の増が見込まれるものの、保険給付費の増、高齢者の納付金・支援金の負担増により引き続き大幅な赤字予算となっておりますが、常に中長期的な視野に立ち、事業全般の見直しも継続しながら効率的な事業運営に取り組んでいくとともに、被保険者の方々やご家族の方々の健康管理や疾病予防等も継続して進めてまいりますので、今後とも一層のご理解とご協力をお願いいたします。

1.健康保険(一般勘定)

一般勘定の決算状況は以下のとおりです。

(単位:千円)

総収入	8,927,368	経常収入	7,772,773
総支出	8,877,956	経常支出	8,722,682
決算残金	49,412	経常収支	▲949,909

●支出

支出総額は、88億7,796万円で、保険給付費と納付金(81億5,270万円)で91.8%を占め、対保険料収入比105.3%となっています。

支出に占める保険給付費の割合は、前年度と比べ、ほぼ横ばいで、金額で、5,634万円の増加となりました。

●決算残金処分

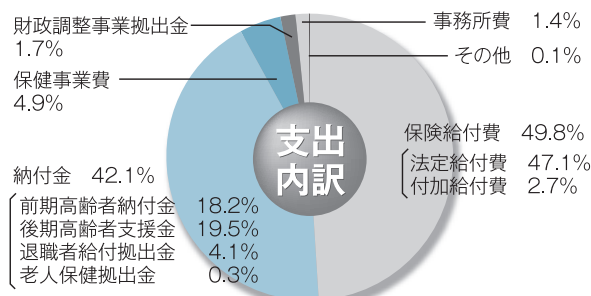
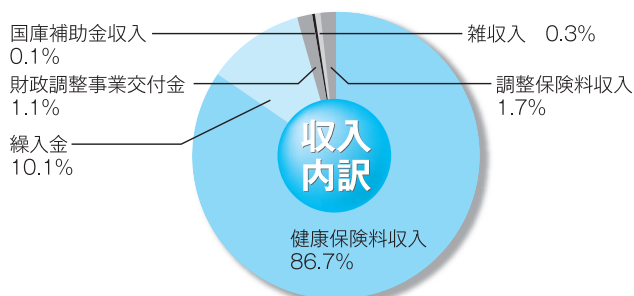
決算残金の4,941万円の処分は以下のようになるとなりました。

準備金への積立	0円
別途積立金への積立	4,936万円
財政調整事業繰越金	5万円

■準備金：健康保険法施行令で定められた基準まで毎年度積立てる法定準備金。保険給付費や拠出金の支払いに不測を生じた際に使用します。

■財政調整事業繰越金：決算年度に収納した調整保険料で、翌年度に支払いが生じる金額を繰り越す為の処置。

収入支出決算の割合をグラフで見ると…



横河電機健康保険組合組合会理事・議員変更のお知らせ

■新任理事・議員

役職名	氏名	事業所
互選監事	郡家 賢治	横河電機株式会社
互選議員	久保 裕資	横河電機株式会社

■退任理事・議員

役職名	氏名	事業所
互選監事	内藤 弘	横河電機株式会社

平成22年度 収入支出決算

収入

(単位:千円)

科 目	21年度決算額	22年度決算額
健康保険収入	6,640,621	7,739,950
調整保険料	150,232	155,559
繰入金	1,803,458	900,000
国庫補助金収入	7,524	11,054
財政調整事業交付金	157,965	94,140
雑収入	312,011	26,665
収入合計	9,071,811	8,927,368

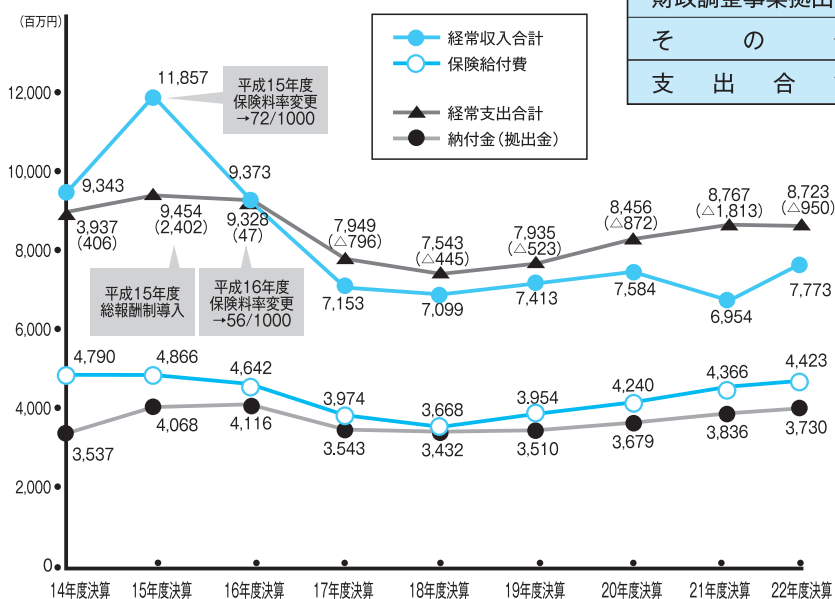
支出

(単位:千円)

科 目	21年度決算額	22年度決算額
事務費	133,005	124,021
法定給付費	4,136,604	4,182,283
付加給付費	229,676	240,340
前期高齢者納付金	1,715,813	1,613,688
後期高齢者支援金	1,587,206	1,730,544
病床転換支援金	1,292	0
老人保健拠出金	90	22,336
退職者給付拠出金	532,052	363,504
保健事業費	421,812	437,895
財政調整事業拠出金	149,159	155,254
その他	10,873	8,091
支出合計	8,917,582	8,877,956

決算残金
4,941万円

収支決算の推移



健康保険料率負担割合

事業主	被保険者	合計
40	24	64
1000	1000	1000

被保険者数と標準報酬月額

		平成21年度	平成22年度
被保険者数(人)	男	14,295	14,043
	女	3,252	2,931
	計	17,547	16,974
平均標準報酬月額(円)	男	471,077	478,083
	女	310,625	326,359
	計	441,340	451,883

2.介護保険(介護勘定)

介護勘定の決算状況は以下のとおりです。21年度に比べて1人あたりの介護納付金額が増加しています。

(単位:千円)

総収入	762,113
総支出	752,919
決算残金	9,194

収入

科 目	決算額(千円)	内訳(%)
介護保険収入	740,528	97.2%
繰越金	1,536	0.2%
繰入金	20,000	2.6%
雑収入	49	0.0%
計	762,113	100.0%

支出

科 目	決算額(千円)	内訳(%)
介護納付金	752,800	100.0%
還付金	119	0.0%
計	752,919	100.0%

介護保険料率負担割合

事業主	被保険者	合計
4.2	4.2	8.4
1000	1000	1000

収入

収入は、事業主および介護保険第2号被保険者と特定保険者のみなさんから介護保険料と、前年度からの繰越金で総収入の97.4%となります。介護納付金を賄うために介護準備金から2,000万円繰り入れました。

支出

支出は、国から納付額が決められた介護納付金が7億5,280万円となりました。介護勘定では、事業主および介護保険の被保険者のみなさんから介護保険料を徴収し、介護納付金として社会保険診療報酬支払基金に納付します。

支払基金に集まった納付金は、介護保険の保険者である各市町村に介護交付金として交付されます。

決算残金処分

今年度の決算残金の9,194千円の内、8,884千円は繰越金とし、残金の310千円は準備金に繰入れます。